

太平洋クロマグロ2018年日本海生まれ 加入量モニタリング速報 (第2報 2018年12月)

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 島根県隠岐諸島周辺における、曳縄モニタリング船※の9月から11月の間の操業について、CPUE(漁獲努力量当たり漁獲尾数)を日本海生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2018年における曳縄モニタリング船CPUEは、2013年～2017年平均の142%、前年の67%であった。
- 2018年の日本海生まれの加入量は、これまでの調査期間(2013年～2017年)の中では高水準である可能性が高い。

※: 隠岐諸島周辺におけるモニタリングは、2013年から開始し、2018年は16隻の操業データを使用している。

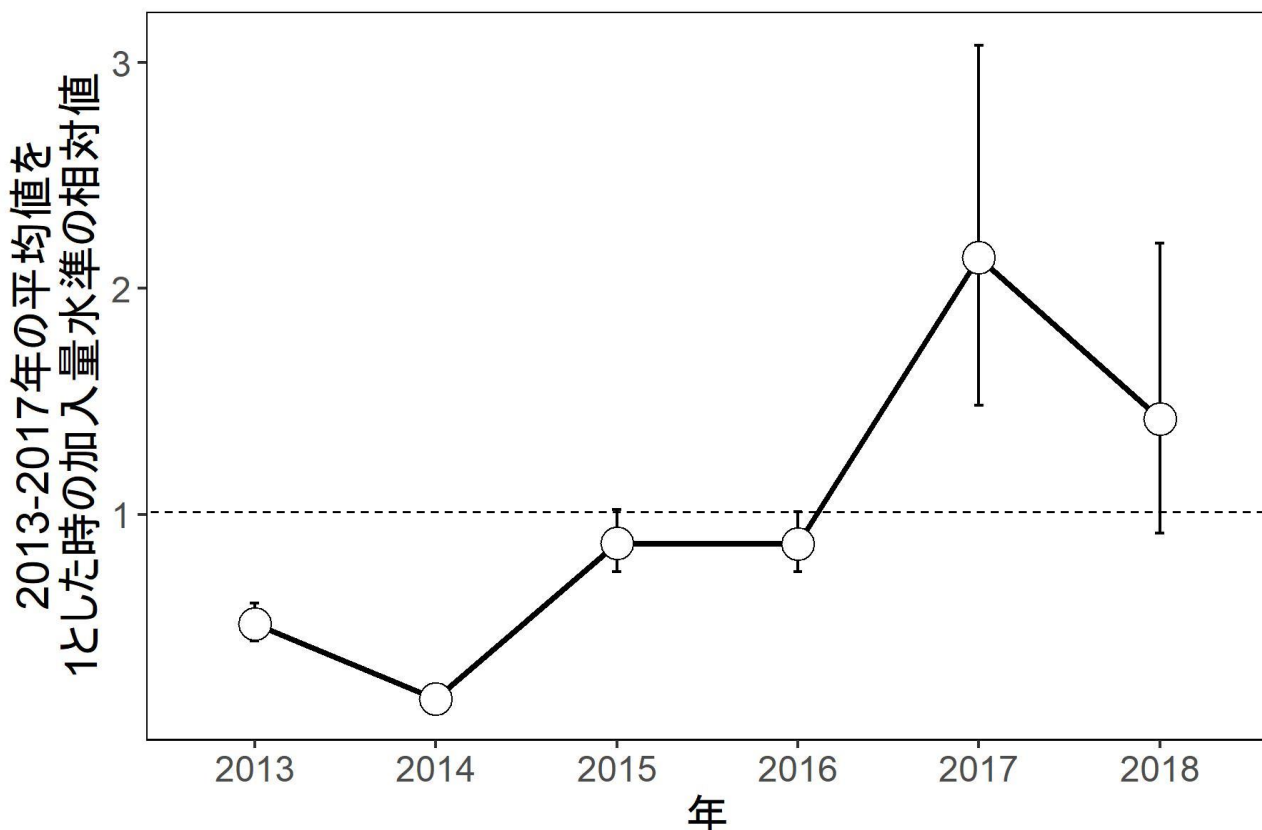


図. 2013～2018年の9-11月の曳縄モニタリング船CPUEの相対値.
図中の垂線は95%信頼区間.